

令和6年度経営発達支援計画 事業評価委員会 実施報告

1. 日 時 令和7年6月25日（水） 午前11時～午後0時13分

2. 場 所 北見経済センタービル 6階特別会議室

3. 出席者 北見工業大学社会連携推進センター長 内島典子 氏

北見市商工観光部 部長 山田隆宴 氏

当所専務理事 服部浩司

事務局次長 後藤達哉

経営指導課長 安藤辰徳

4. 協議事項 1) 令和6年度当所経営発達支援計画の実績と評価

事務局より当所経営発達支援計画について計画と令和6年度実績を対比しながら事業効果について説明。その後、委員から事業に対する意見を伺う。

5. 委員からの評価・意見

【令和6年度 実施事項評価表】

| 項目 | 事業評価 |
|-------------------------------------|------|
| 1. 地域の経済動向調査に関すること | B |
| 2. 経営状況の分析に関すること | A |
| 3. 事業計画策定支援に関すること | A |
| 4. 事業計画策定後の実施支援に関すること | A |
| 5. 需要動向調査、新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること | C |
| 6. 地域経済の活性化に資する取組 | B |
| 7. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること | A |
| 8. 経営指導員等の支援能力の向上の取組 | A |
| 9. 支援ノウハウ等を組織内で共有する体制 | A |

4段階評価の目安

A：十分達成している、B：概ね達成している、C：半分程度しか達成できていない、D：ほとんど達成できていない

【意 見】

◆事業の評価・検証等について

①地域経済の活性化の取組のところで、達成度の低い箇所が散見されているので、何らかの取組にはつなげてもらいたい。またビックデータについては、今は色々なツールがあると思うので、一つに決めず活用してはどうか。

②人材確保の取組のところで、説明会等への学生の来場が少ないという事に関しては全国的な流れとして理解できるので、地元大学である北見工業大学としても就活の手伝いなどが出来ればと思っている。また、セミナー等に関してもＩＴリテラシーセミナー等であれば講師派遣等の連携ができないかと思う。

【当所からの回答】

① に対して

達成度が低い取り組みの中で、婚カツ事業、企業見学会等は関係団体とよく協議して実施に努めてまいりたい。また、いま頂戴したご意見のようにビックデータのツールは1つだけではないのでこちらも活用出来るように進めたい。

② に対して

北見工業大学には人材確保事業である「オホーツク合同企業説明会」を始めとして色々と地元大学としてご協力をいただいているので、いま頂戴した話を含めて連携させていただき事業を進めて行きたい。

【令和7年度事業実施に向けての改善点】

- ・法定経営指導員を中心に、各種セミナー受講者、金融相談事業者など業務を通じて小規模事業者の掘り起こしを行い、クラウド型経営支援基幹システム「BIZミル」を活用し適切な分析を行い、実績を重ねていく。
- ・事業計画策定等支援にあたり、国等が提供するRESAS また、商圈分析システムMieNa等を活用し、事業計画の精度を上げ、策定された計画の達成に向けて支援していく。
- ・事業計画策定後のフォローアップ件数も伸びているが、令和7年度は更にきめ細かくフォローアップを行い、策定した計画に沿った事業の進捗状況を確認し支援していく。また、創業間もない事業者に対する巡回フォローアップについては、北見市をはじめ関係機関や専門家等と連携し、引き続き個別相談や巡回訪問を引き続き行っていく。
- ・展示会・商談会出展支援事業者については、金融機関と連携しこれまで出展した事業所も含めより多くの小規模事業者に出展を促すと共に、出展事業者のアウトカムの目標設定を行い、出展効果を高めていくこととする。併せて、ネット販売やECサイト構築等のDX化に対する取組み支援を行っていく。
- ・本計画を推進するうえで、北見市との連携を強固にしながら小規模事業者への伴走型支援を実施する。